

生田ふれあい広場・生田多目的広場Ankerフロントاون生田完成記念式典

3月25日、多摩区にある生田(いくた)浄水場用地の有効利用を目的に生田ふれあい広場・生田多目的広場・Anker(アンカー)フロントاون生田の3つの施設がオープンしました。

およそ4万8000平方メートルの広大な敷地には、どんな方でも楽しめる「遊具エリア」をはじめ、マンホールトイレなどの震災に備えた機能が整備された「生田ふれあい広場」。

また、少年野球や少年サッカー消防団の訓練で使用可能な「多目的広場」が整備されました。

さらに、バスケットボールなどが行える体育館やテニスコート、そして人工芝の本格的なサッカーグラウンドを完備した、「Anker(アンカー)フロントاون生田」が全面オープン。

完成記念式典には、川崎市の福田紀彦(ふくだ のりひこ)市長や、Jリーグ、川崎フロンターレのOB中村憲剛(なかむら けんご)さんも参加しました。

(福田市長)
「地域の皆様のご理解ご協力があって今日を迎えることができました。改めて、この間皆様のご理解ご協力に心から感謝を申し上げます。」

今後、スポーツを通じた子どもたちの育成や地域の方々の交流の場として有効利用されることが期待されています。